



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第四〇五号）

霜降そうこう

十月二十四日

倭姫宮ご鎮座百周年記念奉祝行事

伊勢神宮内宮の始まりに関わった、倭姫命やまとひめのみこと。その倭姫命をご祭神とする別宮べつぐうがご鎮座（創建）されたのは、大正十二年十一月五日のことでした。今年のご鎮座百周年の大きな節目を記念した、奉祝行事ほうしゆくが行われます。

奉祝行事は、十一月四日・五日の二日間にわたって行われます。まず四日は、伊勢神宮内宮参集殿二階講堂で、「時空をつなぐ倭姫命〜倭姫宮ご鎮座百周年に寄せて〜」と題した講演会があります。講師は、皇學館大学名誉教授の櫻井治男先生。そのあとは、櫻井先生も加わり、神宮司庁広報室の音羽悟次長、倭姫宮御杖代奉賛会の牧戸福司会長による「これまでの百年、これからの百年」をテーマにシンポジウムが続きます。私はコーディネーターとして、シンポジウムの進行役を担いますが、倭姫宮という新しい別宮の創建は異例で、伊勢神宮や地元・伊勢市民（当時は宇治山田市民）の粘り強い努力や尽力があつてのこと。そうした創建の経緯や地元の倭姫命へ信仰の継続、そしてこれからのことを話し合います。

午後一時十五分からは、会場を伊勢市倉田山の神宮ちやうこかん徴古館前の特設舞台に移し、倭姫宮を奉祝する音楽などが披露されます。

翌日五日は、午前十時から倭姫宮のご本殿前で、祭典が執り行われます。その後、伊勢神宮の楽人や舞姫による舞楽ぶがくがあります。午前十一時からは神宮徴古館前の特設舞台で、百周年を記念する曲や舞踊などが次々と個人や団体などによって披露され、見ごたえのある舞台が予定されています。ほかにも周辺では、ご神酒やぜんざいの授与、福引、野点席での接待、俳句会、神話紙芝居などが行われ、終日、賑わいが予想されます。

倭姫宮ご鎮座百周年を機に、伊勢神宮の始まりや倭姫命に想いを馳せる秋の一日を過ごしたいものです。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 令和5年 倭姫宮ご鎮座100周年 奉祝企画展「凜の集い」

11月5日に伊勢神宮内宮の別宮、倭姫宮（やまとひめのみや）がご鎮座から100周年を迎えます。天照大御神を伊勢神宮にお遷しするという大国家事業を成し遂げたキャリアウーマンの元祖のような女神様の祭典にちなんで、女性たちの展示をぜひご覧ください。

日 時／10月28日(土)～11月5日(日) 10：00～17：00

場 所／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

入 場／無料

出 展／凜九、阿部夫美子

協 力／すかや呉服店

※諸事情により、やむを得ず内容の一部を変更または中止させていただく場合がございます。

● 奉祝企画展～凜の集い～

天照大御神の御杖代として巡行し、その使命を果たされた倭姫命。その倭姫宮ご鎮座100周年を記念した企画展です。古の倭姫命のお姿に想いを致し、根付、絞り染め、型紙、漆、筆、一刀彫、和紙、七宝、組紐というそれぞれの技を受け継ぐ9人の女性伝統工芸職人のグループ「凜九」が展示を行います。また、伊勢の地で独自の美の世界を創造し続ける和紙人形作家・阿部夫美子さんによる和紙人形の展示もあります。

● ワークショップ

伝統工芸を受け継ぐ女性職人9名のグループ「凜九」の方々による体験教室です。女性らしいしなやかな感性の中、伝統工芸の世界を体験していただけます。

日 時／10月28日(土)、29日(日)、11月3日(金・祝)、4日(土)

場 所／孫の屋三太前「特設会場」

講 師／凜九（中西 由季、藤岡 かほり、那須 恵子、大須賀 彩）



お問い合わせ/おかげ横丁総合案内「おみやげや」 電話0596-23-8838

五十鈴塾

○ 人に好かれる話し方

読む、語る、ほざく、愚痴る…人が言葉を発するには何らかの意味があります。独り言ですら、近くの誰かに聞こえるように口にすることもあります。誰かに伝えようとして発する言葉。自分の思いを整理して言葉にすることは脳の活性化を促します。また明るい声をイメージした正しい発声は口元の老化も防ぎます。声の大きさや話す速度をどのようにすれば自分の思いが相手に伝わりやすくなるのか。中京テレビ、FM三重でのアナウンサー歴約40年の瀧さんが、仕事上経験したエピソードの他、共通語のアクセントやイントネーションについて、日常会話にも活かせる発声・発音、おしゃべりのコツなどをお話します。

日 時／10月27日(金) 13：30～15：00

講 師／瀧 裕司（フリーアナウンサー・ディレクター）

参加費／一般 1,450円 会員 950円

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 五十鈴茶屋節気菓子

やま にしき
山の錦

五十鈴川の上流に位置する神路山は、初秋の影を残しつつ錦おりなす頃となりました。三色の餡の茶巾しぼりでその美しさを愉えました。

かしこじま ゆうば
賢島の夕映え

英虞湾が黄金色に染まる夕映えの賢島。羊羹とそぼろ餡を交互に流して仕上げ、その一刻を菓子にとどめました。

はつ しも
初 霜

朝晩の空気が冷たく感じられ、伊勢路にも霜の降り始める時季がめぐってきました。小豆餡のそぼろ生地で黒糖餡を包み蒸し上げ、初霜の降りた大地を表現しました。